

6月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/06/01 (水)	東京は当初調整と思いきユーロ買戻しが先行するも一部独紙の報道を受けて基調が一変、再びユーロ安に。欧米でユーロは大幅下落、独紙については否定コメントでもオランダの紺民投票にらみつつユーロ独歩安。	・5月のISM製造業業況指数51.4 ・フランスに続きオランダでもEU憲法批准の国民投票で「ノー」の結果	・一部独紙「独財務相と連銀総裁が先週末会談、通貨統合失敗の可能性について協議」(その後独連銀などから否定コメントで) ・英財務省「11日のG7財務省朝食会に中国を招待」	108.34	133.28	寄付
				108.14	132.35	安値
				108.87	133.70	高値
				108.75	132.46	終値
05/06/02 (木)	東京は目先のドル買いも一巡し、むしろ調整的な売りが先行。ユーロ/ドルは前日から100P近くも戻した。欧米は基本揉み合い、ただ原油高などに支えられ、ユーロは底堅い様相。	・伊ドルが米GSに13億ユーロで部門売却へ ・ECBが政策金利を据え置き ・第1四半期の米労働生産性2.9%、4月の米製造業受注0.9%	・日銀が当座預金残高目標の下限割れ容認、連関し水野審議委員「早ければ1年後に金利政策に戻る」 ・渡辺財務官「G8財務相会合で人民元はメンテナンスにならない」	108.63	132.53	寄付
				108.09	132.17	安値
				108.69	133.08	高値
				108.30	132.83	終値
05/06/03 (金)	東京は米雇用統計を前にした調整の円買い戻し活発。伊労働相発言などからユーロは荒い値動き。欧米でユーロは再び弱含み。米経済指標が悪いにもかかわらずドル堅調裡、米長期金利高を材料視。	・5月の米失業率5.1%、同非農業者雇用数7.8万人増、同ISM非製造業業況指数58.5と失業率を除く2指標が事前予想値よりも大幅悪化	・伊労働相「イタリアはユーロから離脱しリラに戻るべき」 ・独政府報道官「最近のユーロの動きは憲法批准否決による過剰反応」 ・米財務長官「中国のより柔軟な為替制度への移行を確信」	108.23	132.83	寄付
				107.45	131.67	安値
				108.25	132.84	高値
				107.70	131.79	終値
05/06/06 (月)	東京はEU財務相会談睨みで動意薄。ただ調整的なドル売り優勢で対ユーロ、円とも小安い。欧米はドル安というより円高。加入でもOPのリスクを狙った仕掛けなどから円買い優勢。	・仏政府がフランステレコム株を最高45億ユーロで売却へ ・英国がEU憲法批准の国民投票手続き凍結を表明	・イッソグ ECB専務理事「戦略的に利下げを除外しない」 ・オーストリア中銀総裁「ユーロやドル相場は経済、財政状況の見方を反映」 ・独経済次官「最近のユーロ安を懸念していない」	107.74	131.71	寄付
				106.72	130.95	安値
				107.76	131.89	高値
				106.95	131.12	終値
05/06/07 (火)	東京は引き続きドル安・円高傾向。ハネムネ討論に参加したグ議長発言に注目集まるがとくに新味なし。欧米は再び円買いムード強い。米金利打ち止め思惑が台頭し長期金利が低下、ドル上昇の足枷に。	・5月末外貨準備高はユーロ資産評価低下で前月比11億ドル減	・FRB議長「長期金利の低下は依然として謎のまま」 ・トリシェ ECB総裁「市場に利下げの準備はさせていない」 ・独連銀総裁「ECBはインフレに関して満足することは出来ない」	106.91	131.12	寄付
				106.50	130.74	安値
				107.00	131.46	高値
				106.62	130.98	終値
05/06/08 (水)	東京でユーロが反発、FT紙の報道がドル買戻し材料に。対ドルでも連れ高気味に推移。欧米は一転してドル独歩高の様相。翌日のグ議長証言を睨みつつもドル買い活発。	・FT紙「日本の商法改正で外国企業が撤退の可能性」 ・4月の景気先行指数25.0、一致指数44.4 ・4月の米卸売在庫0.8%	・財務省幹部「G8財務相会合で為替は議題にならず」 ・蘭中銀総裁「EU憲法否決、ユーロへの中長期的影響は限定的」 ・独経済労働相「ユーロの下落は独経済にプラス」	106.60	130.97	寄付
				106.59	130.94	安値
				107.40	131.88	高値
				107.28	131.25	終値
05/06/09 (木)	東京はおおむね揉み合い。北朝鮮絡みの報道から一時円は売られるも影響は限定的なものに。欧米は小幅に円安。期待されていたグ議長発言も新味なく反応限定的。ただ調整的な動きからドル強い。	・NZが政策金利を据え置き ・4月の経常黒字1兆6269億円、同貿易黒字は1兆1966億円 ・イスラエルが通貨の自由変動制へ ・BOEが政策金利を据え置き	・北朝鮮外務次官「米国の攻撃を防ぐに十分な数の核兵器を保有済」 ・米大統領「FRB議長の後任、グ氏並みの人材を見つけることは困難」 ・FRB議長「慎重なペースで金融緩和解除できる」	107.28	131.29	寄付
				107.08	130.92	安値
				107.77	131.69	高値
				107.43	131.38	終値
05/06/10 (金)	東京は米貿易収支にらみでほとんど動意なし。G8に関する発言が幾つか聞かれたが反応は限定的。欧米タイムにドルは対円、ユーロとも急伸。台頭していた米利上げ小休止観測が後退し、ドル買いを後押しした。	・中国証券報「中国は人民元を切り上げる必要がある」 ・ニューヨークタイムズ「中国共産党が人民元をドルだけでなく通貨バスケットと連動させることを検討」 ・4月の米貿易赤字 570億ドル	・スイス中銀総裁「為替変動制、中国経済の健全化に繋がる」 ・谷垣財務相「G8では人民元も議論へ」	107.53	131.52	寄付
				107.32	131.07	安値
				108.69	131.70	高値
				108.65	131.68	終値
05/06/13 (月)	東京はドル高というよりユーロ安。ユーロ/ドルは一時1.21ドルを割り込み新安値を更新する局面も。欧米は円の独歩安。当初はユーロ統落でスタートするも流れが変わり、損切り巻き込みつつ円一段安。	・第1四半期のGDP改定値前期比1.2%で速報値から下方修正 ・独紙シュベグル「イッソグ ECB理事が弱めの経済成長がインフレリスクを抑制と発言した」(のちにスポンクスマンが「記事は不正確」と否定)	・蘭中銀総裁「ECBは現段階で利下げを協議する理由がない」 ・米財務長官「米国は財政赤字削減に向けて進んでいる」	108.55	131.51	寄付
				108.45	131.17	安値
				109.69	132.71	高値
				109.58	132.70	終値
05/06/14 (火)	東京は揉み合いつつも調整的なドル売り先行の展開。ドル高値圏と見た輸出企業からの為替予約も。欧米は再びユーロ安。米インフレの後退から一時ドルが売られるも下値は堅く、その後基調が転換した。	・複数ハッジファンドの5月運用成績がマイナスへ転落と報じられる ・5月の米PPI 0.6%、同小売売上高0.5%	・黒田アジア開銀総裁「人民元改革は早期に実施される見込み」 ・ハイスFRB理事「全米規模による住宅バブルは見受けられない」 ・リッチモンド連銀総裁「現在の金利水準はかなり緩和的」	109.60	132.68	寄付
				109.08	131.58	安値
				109.61	133.05	高値
				109.47	131.69	終値
05/06/15 (水)	東京はドルが小安い。昼過ぎに伝えられた加州地震の報道もドル売りの材料として反応していたようだ。欧米は調整と思いきユーロ買戻し活発。米経済指標は好悪混在で反応しにくい。	・5月の米CPI 0.1%、同鉱工業生産0.4%、同設備稼働率79.4%、4月の対米証券投資額474億ドル(予想は800億ドル程度)、6月のインバーステートサーベイ111.7 ・ペーゾブック発表	・カルフォルニアでM7.4の地震発生 ・日銀が金融政策の据え置き発表 ・仏経済財務産業相「ユーロは対ドルでもはや過大評価されていない」 ・アルムニア欧州委員「1.18～30ドルのあいだなら通常の変動範囲内」	109.42	131.64	寄付
				109.14	131.45	安値
				109.72	132.49	高値
				109.22	132.32	終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで